

屋外看板の取付パーツ開発

看板製造販売のファースト

メッセナゴヤ2024

出展企業

10月30～11月1日

傾斜・段差面にも手軽に設置

看板製造販売のファースト（本社名古屋市中区原1-8-15、水本貴士社長、電話052・803・6131）は、看板のスタンド部分に取り付けることで、傾斜や段差のある地面にも置くことが可能となるパーツ製品を開発した。スタンド看板（屋外用置き型看板）商品「Bサイン」に取り付ける製品として販売。パーツの追加や展示会でのアピールなどで、Bサインの販売台数の上積みを図る。

（中村光希）

パーツ製品の価格は未定。長さは、ねじで手軽に調整可能。段差の高さや傾斜角度によって柔軟に変えられる。

メインターゲットはBサインの購入者ら既存顧客を中心とする。工場やオフィス、病院などの新規顧客開拓にも取り組みたい考え。



スタンド看板「Bサイン」に取り付けて使う

30日から11月1日まで、名古屋市の名古屋国際展示場（ポルトメッセなごや9）で開催される「メッセナゴヤ2024」に、同パーツ製品などを出展する。

Bサインは、20年以上販売している定番のスタンド看板。小売店や飲食店、ホテルなどから需要を獲得している。カラーは白と黒の2種類で展開している。

西皇巧取締役は「お客さまから階段などの段差に対応できる製品が欲しいとの声があった。今まで置けなかった場所に、看板を利用いただける可能性が増えたので、より多くの方に製品を届けていきたい」と話した。

同社は1978年設立。23年10月期の売上高は非公表。従業員数は25人（パートを含む）。看板やデジタル

ルサイン製品などの製造・販売を手掛けている。同社の製品は部品単位で修理可能またはパーツのみの販売も行っており、長く使えるところが特徴。手作業で組み立て、細かくチエックを重ねることで、高い品質を誇っている。